

若手海外支援報告書

チュービンゲン大学研究員の Daniel Slane 博士を本領域の若手海外派遣支援費により、約 1 年間(2022 年 6 月から 2023 年 6 月まで)、東京大学の松永班の研究室に来てもらい共同研究を行いました。熱ストレスを受けた表皮細胞のクロマチン解析やインフォマティクス解析などの共同研究を行い、研究成果を得ることができました。



(写真) 松永研究室において実験を行う Slane 博士